

【様式1】

市議会における政策提案とその対策等					
〔一般質問〕					
担当課	福祉課	議員名	山口 恭寿 議員	提案月	R 元.9 R5.2
<p>〔提案事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度心身障がい者医療費助成制度について、現物給付方式の導入を検討してもらいたい。 (R 元.9) ・ その後の状況についての確認 (R5.2) 					
<p>〔現況等〕</p> <p>重度心身障がい者医療費助成については、医療機関の窓口でいったん自己負担額を支払ったのち、市へ申請することにより助成を受けられる「償還払い方式」となっている。</p>					
<p>〔政策提案を受けての対策〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀県とともに現物給付方式の導入に向けた検討を行う。 検討にあたっては、申請書を提出する手間を省略することができる自動償還払方式も視野に入れた検討を行う。 ・ 現物給付方式の導入に伴う国保ペナルティの撤廃を、佐賀県とともに国に対し要望する。 					
<p>〔対応状況・令和5年9月30日現在 検討中〕</p> <p>「重度心身障がい者医療費助成の給付方式に係る圏域作業部会」(令和4年1月12日開催)において、佐賀県北部・西部障害保健福祉圏域内の市町(唐津市、玄海町、伊万里市、有田町)で意見交換を行った。</p> <p>「障害保健福祉施策に関する意見交換会」(令和5年8月23日開催)において、県内20市町の障がい福祉担当課長で意見交換を行った。</p> <p>各市町とも、給付方式の変更(現物給付方式又は自動償還払方式への移行)にあたっては、県内統一が望ましいとの意見で一致する一方、県においては現物給付方式を導入したいとの考えが示されたところである。今後も、当該圏域作業部会や20市町の障がい福祉担当課長会議等の場で引き続き協議される予定である。</p>					